KISSEI

証券コード：4547

決算補足資料

2027年３月期 第２四半期（中間期）

2026年11月4日

キッセイ薬品工業株式会社

目 次

【第２四半期（中間期）決算短信 ‥‥‥‥‥‥‥‥‥ Ｐ１

「当中間期の経営成績の概況」より抜粋】

Ⅰ．連結損益計算書の推移 ‥‥‥‥‥‥‥‥‥ Ｐ２

Ⅱ．連結貸借対照表の推移 ‥‥‥‥‥‥‥‥‥ Ｐ４

Ⅲ．連結キャッシュ・フロー計算書の推移 ‥‥‥‥‥‥‥‥‥ Ｐ６

Ⅳ．配当の推移 ‥‥‥‥‥‥‥‥‥ Ｐ７

Ⅴ．主な医薬品の売上推移 ‥‥‥‥‥‥‥‥‥ Ｐ８

Ⅵ．新薬開発状況（自社） ‥‥‥‥‥‥‥‥‥ Ｐ９

Ⅶ．新薬開発状況（導出） ‥‥‥‥‥‥‥‥‥ Ｐ９

注記
本資料記載の将来見通しは、既存の情報や様々な動向についてのキッセイ薬品による2026年11月時点での分析に基づいています。実際の業績は、事業に及ぼすリスクや不確定な事柄により見通しと異なることがあります。

【第2四半期（中間期）決算短信「当中間期の経営成績の概況」より抜粋】

・売上高の状況

医薬品事業の売上高は、37,401百万円（前年同期比2.5%減）となりました。2026年５月に安全性速報（ブルーレター）を発出した、顕微鏡的多発血管炎・多発血管炎性肉芽腫症治療薬タブネオスは、3,140百万円（前年同期比44.0%減）となりました。2026年３月に新発売した創製品である子宮筋腫治療薬イセルティに加え、過活動膀胱治療薬ベオーバ、透析患者におけるそう痒症治療薬コルスバ、持続性及び慢性免疫性血小板減少症治療薬タバリスが伸長し、さらに、コ・プロモーションフィーが拡大しましたが、輸出や技術料売上などの海外ライセンス収入が減少し、減収となりました。

情報サービス事業の売上高は、受注増により6,517百万円（前年同期比27.7%増）、建設・施設メンテナンス事業の売上高は、工事案件の延期などにより1,067百万円（前年同期比42.9%減）、物品販売事業の売上高は517百万円（前年同期比1.0%増）となりました。

・利益の状況

売上原価率は、タブネオスや技術料売上の減少などに伴う売上構成の変化により上昇しました。一方、前年度に計上した技術導入に係る研究開発費の反動減などにより、営業利益、経常利益は黒字転換しました。親会社株主に帰属する中間純利益については、タブネオスの製造販売承認取消しを含む行政手続きが進められていることに鑑み、棚卸資産及び長期前払費用などのタブネオスに関する資産について特別損失を計上したことにより減益となりました。

・研究開発の状況

CGオンコロジー社（米国）から導入したCretostimogene grenadenorepvec（一般名、開発番号：CG0070）について、中リスク筋層非浸潤性膀胱がんを適応症とする国内第Ⅱ相臨床試験を2026年９月から開始しました。

ライジェルファーマシューティカルズ社（米国）から技術導入したオルタシデニブ（一般名）について、2026年５月に、再発又は難治性のIDH1遺伝子変異陽性の急性骨髄性白血病を適応症として国内で承認申請を行うとともに、オリエントユーロファーマ社（台湾）に台湾における開発権及び販売権を許諾しました。

海外導出品の研究開発状況としては、ライジェルファーマシューティカルズ社（米国）から技術導入したホスタマチニブ（一般名、国内販売名：タバリス）について、2026年７月に、台湾におけるサブライセンス先である台田薬品股份有限公司（台湾）が承認申請を行っています。

・個別製品の状況

タブネオスについては、これまで、2026年５月15日から慎重な投与を要請する情報提供活動を開始し、2026年５月21日には、重篤な肝機能障害について日本の添付文書を改訂するとともに、これを医療従事者に伝達し注意喚起を行う安全性速報（ブルーレター）を発出しました。さらに、当社は厚生労働大臣から、欧米で問題とされている国際共同第Ⅲ相臨床試験データの信頼性及び本剤の安全性に関する事実確認と、その報告を求める報告命令を受領し、これに回答しています。2026年10月21日の薬事審議会医薬品第二部会では、報告命令に基づき当社が提出した回答書の厚生労働省での確認結果が報告され、承認審査時の提出資料の信頼性に問題があり得ること、本剤による治療上の有益性がリスクを上回ると判断することが困難であることが確認されるとともに、本剤の対象疾患は重篤な希少疾病であり、投与中の患者における治療変更は、病状や他の治療選択肢を踏まえて個別に判断する必要があるとされました。これを受けて、厚生労働省は、当面の間、本剤の投与に関する対応（注）を医療機関等に要請することとし、同日付で通知を発出しました。当社は、本通知の内容を踏まえた医薬情報提供活動を開始しています。

（注）本剤の投与に関する対応の詳細については、2026年10月22日付当社ニュースリリースをご確認ください。

Ⅰ．連結損益計算書の推移

（百万円）

決算期 / 項目	2026年３月期		2027年３月期			
	中間期	通期実績	中間期	前同比	通期予想	前期比
売上高	45,831	97,406	45,503	△0.7%	89,000	△8.6%
医薬品事業	38,347	77,950	37,401	△2.5%	73,500	△5.7%
国内医薬品	32,766	67,764	32,899	0.4%	64,500	△4.8%
医薬品	30,428	62,540	30,435	0.0%	58,700	△6.1%
その他*1	2,337	5,223	2,463	5.4%	5,800	11.0%
海外ライセンス	3,775	6,691	2,764	△26.8%	5,400	△19.3%
技術料*2	735	865	518	△29.5%	600	△30.6%
輸出	3,039	5,826	2,245	△26.1%	4,800	△17.6%
ヘルスケア食品	1,806	3,494	1,737	△3.8%	3,600	3.0%
情報サービス事業	5,102	14,237	6,517	27.7%	12,200	△14.3%
建設・施設メンテナンス事業	1,868	4,331	1,067	△42.9%	2,400	△44.6%
物品販売事業	512	886	517	1.0%	900	1.6%
売上原価	23,143	51,587	23,793	2.8%	47,300	△8.3%
(原価率%)	(50.5)	(53.0)	(52.3)		(53.1)	
売上総利益	22,688	45,818	21,710	△4.3%	41,700	△9.0%
販売費及び一般管理費	29,525	48,745	20,015	△32.2%	39,200	△19.6%
研究開発費	16,328	22,521	7,311	△55.2%	14,300	△36.5%
(売上高比%)	(35.6)	(23.1)	(16.1)		(16.1)	
営業利益又は営業損失(△)	△6,837	△2,927	1,694	–	2,500	–
営業外収益	1,400	2,268	1,445	3.2%	2,200	△3.0%
受取利息及び配当金	904	1,743	922	2.0%		
その他の収益	495	525	522	5.4%		
営業外費用	184	504	216	17.0%	300	△40.5%
支払利息	13	28	19	37.7%		
その他の費用	170	475	197	15.3%		
経常利益又は経常損失(△)	△5,622	△1,162	2,923	–	4,400	–
特別利益	15,199	18,248	8,058	△47.0%	14,000	△23.3%
特別損失	166	195	4,313	–	4,400	–
税金等調整前中間(当期)純利益	9,410	16,891	6,668	△29.1%	14,000	△17.1%
法人税、住民税及び事業税	4,804	6,208	1,858	△61.3%	3,100	△50.1%
法人税等調整額	△3,271	△3,278	△450	–	800	–
非支配株主に帰属する中間(当期)純利益	93	181	69	△25.2%	100	△44.8%
親会社株主に帰属する中間(当期)純利益	7,784	13,779	5,191	△33.3%	10,000	△27.4%
(包括利益)	(10,001)	(31,399)	(675)	(△93.2%)		

*1：国内販売提携先供給額、コ・プロモーションフィーの合計額

*2：ライセンスアウトに係る契約金、マイルストン収入、ランニングロイヤルティの合計額

売上高	実績： 医薬品事業：2.5%減収 国内医薬品は微増。タブネオスの減収はあったものの、ベオーバ、コルスバ、タバリス、イセルティなどの伸長により増収。また、海外ライセンス収入は、輸出売上、技術料売上ともに減少。ヘルスケア食品は減収。 その他の事業：8.3%増収 情報サービス事業が27.7%増収、建設・施設メンテナンス事業が42.9%減収、物品販売事業が1.0%増収。 予想： 医薬品事業：5.7%減収 国内医薬品では、引き続きベオーバを始めとする主力製品を育成する一方、タブネオスの減収を見込み、全体で減収。海外ライセンス収入は、輸出売上、技術料売上が減少の見込み。ヘルスケア食品は、新製品の発売を予定することなどから増収の見込み。 その他の事業：20.3%減収 情報サービス事業、建設・施設メンテナンス事業が減収、物品販売事業が微増の見込み。
売上原価	実績：売上原価率は1.8ポイント上昇 医薬品事業の売上原価率は、薬価改定に加え、製品構成の変化や技術料売上の減少などにより上昇。その他の事業も事業構成の変化などにより微増。 予想：売上原価率は0.1ポイント上昇 医薬品事業は年度前半と同様の理由により上昇、その他の事業は売上構成比の変化などにより改善を見込む。
販売費及び一般管理費	実績：前年同期比32.2%減少 販売費、研究開発費において減少。中でも研究開発費は、昨年度計上した技術導入に係る契約一時金の反動により大幅に減少。 予想：前期比19.6%減少 年度前半と同様の理由により、販売費、研究開発費が減少となる見込み。
営業外損益	実績：有価証券売却益及び有価証券評価益の計上。 予想：特別なものは見込んでいない。
特別損益	実績：投資有価証券売却益が減少。なお、タブネオスの製造販売承認取消しを含む行政手続きが進められていることに鑑み、タブネオスに関する棚卸資産及び長期前払費用について特別損失を計上。 予想：投資有価証券売却益の計上を見込む。

【その他項目（連結）】

（百万円）

決算期 / 項目	2026年３月期		2027年３月期			
	中間期	通期	中間期	前同比	通期予想	前期比
減価償却費	2,254	4,644	2,375	5.4%	4,600	△0.9%
設備投資額	3,648	5,699	1,943	△46.7%	4,500	△21.0%
主要内容	生産設備等 2,691 その他 957	生産設備等 3,051 その他 2,647	生産設備等 349 その他 1,594		生産設備等 900 その他 3,600	
期末従業員数(人)	1,830	1,786	1,843	13	–	–

Ⅱ．連結貸借対照表の推移

（百万円）

項目 ＼ 決算期		2026年３月期 中間期	2026年３月期 期末	2027年３月期 中間期	増減（対前期末）
資産	流動資産	119,876	114,969	110,948	△4,021
	現金及び預金	36,324	29,057	29,685	627
	受取手形、売掛金及び契約資産	28,344	31,583	29,531	△2,052
	特定金銭信託及び有価証券	27,540	27,564	26,142	△1,421
	棚卸資産	26,242	25,522	23,878	△1,643
	その他の流動資産	1,424	1,241	1,709	468
	固定資産	141,249	160,117	155,904	△4,213
	有形固定資産	29,762	28,093	28,823	730
	無形固定資産	2,005	1,969	1,966	△2
	投資その他の資産	109,481	130,055	125,113	△4,941
	投資有価証券	86,945	104,271	100,555	△3,715
	長期前払費用	11,707	10,814	9,429	△1,384
	退職給付に係る資産	9,245	13,287	13,757	469
	繰延税金資産	496	538	403	△135
	その他の投資等	1,105	1,161	986	△175
	貸倒引当金	△18	△18	△18	－
資産合計		261,125	275,086	266,852	△8,234

現金及び預金	・主として、利益による増加
受取手形、売掛金及び契約資産	・医薬品事業における売掛金の減少
棚卸資産	・医薬品事業における製商品の減少
有形固定資産	・医薬品事業における新中央棟建設による建設仮勘定の増加
投資有価証券	・売却による減少及び時価評価による含み益の減少
長期前払費用	・医薬品事業における長期前払費用の減損による減少

（百万円）

項目 ＼ 決算期		2026年３月期 中間期	2026年３月期 期末	2027年３月期 中間期	増減 (対前期末)
負債	負債合計	48,500	43,550	37,287	△6,263
	流動負債	33,575	21,688	18,064	△3,623
	支払手形及び買掛金	7,756	6,661	5,293	△1,367
	短期借入金	1,270	1,250	1,250	–
	未払法人税等	5,095	5,006	2,060	△2,946
	契約負債	805	846	1,466	619
	その他の流動負債	18,649	7,922	7,993	71
	固定負債	14,924	21,862	19,222	△2,639
	繰延税金負債	14,082	21,029	18,432	△2,596
	その他の固定負債	842	833	790	△43
純資産	純資産合計	212,625	231,536	229,564	△1,971
	株主資本	165,833	169,339	171,884	2,544
	資本金	24,356	24,356	24,356	–
	資本剰余金	24,243	24,243	25,043	800
	利益剰余金	132,746	136,253	137,299	1,045
	自己株式	△15,513	△15,513	△14,815	698
	その他の包括利益累計額	45,546	60,806	56,220	△4,585
	非支配株主持分	1,245	1,390	1,459	69
負債及び純資産合計		261,125	275,086	266,852	△8,234

支払手形及び買掛金	・医薬品事業における買掛金の減少
未払法人税等	・医薬品事業における所得減に伴う減少
繰延税金負債	・投資有価証券の含み益減少に伴う減少
利益剰余金	・期中配当金支払いによる4,145百万円の減少、親会社株主に帰属する中間純利益による5,191百万円の増加
その他の包括利益累計額	・投資有価証券の売却及び時価評価に伴うその他有価証券評価差額金の減少

Ⅲ．連結キャッシュ・フロー計算書の推移

（百万円）

決算期 / 項目	2026年３月期 中間期	2027年３月期 中間期	増 減
営業活動によるキャッシュ・フロー	7,987	527	△7,459
投資活動によるキャッシュ・フロー	12,782	3,990	△8,792
財務活動によるキャッシュ・フロー	△7,663	△4,931	2,731
現金及び現金同等物に係る換算差額	7	△12	△19
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	13,114	△425	△13,540
現金及び現金同等物の期首残高	48,158	53,971	5,812
現金及び現金同等物の期末残高	61,273	53,545	△7,727

主な増減要因（前年同期比）

１．営業活動によるキャッシュ・フロー

営業活動の結果得られた資金は、売上債権の減少などの資金増加要因があった一方で、法人税等の支払額の増加や仕入債務の減少などの資金減少要因により、前年同期に比べ7,459百万円減の527百万円となりました。

２．投資活動によるキャッシュ・フロー

投資活動の結果得られた資金は、投資有価証券を売却した一方で、有形固定資産の取得による支出などにより、前年同期に比べ8,792百万円減の3,990百万円となりました。

３．財務活動によるキャッシュ・フロー

財務活動の結果使用した資金は、配当金支払額が増加した一方で、自己株式の取得による支出が減少したことなどにより、前年同期に比べ2,731百万円支出減の4,931百万円となりました。

Ⅳ．配当の推移

（円）

項目＼決算期	2024年 3月期	2025年 3月期	2026年 3月期	2027年 3月期予想
中間配当	41	45	60	105
期末配当	41	55	100	65
年間配当	82	100	160	170

2026年3月期の期末配当金及び2027年3月期（予想）の中間配当金には、創立80周年記念配当40円をそれぞれ含んでいます。

（%）

配当性向	33.3	36.5	48.3	69.1

（参考）　（百万円）

自己株式の取得	6,000	5,292	5,216	6,000
(取得株式数)	(1,910千株)	(1,400千株)	(1,369千株)	(1,300千株)
自己株式の消却	5,704	3,981	4,173	4,300
(消却株式数)	(2,500千株)	(1,400千株)	(1,369千株)	(1,300千株)

（%）

総還元性向	86.8	80.6	86.0	130.2

Ⅴ．主な医薬品の売上推移

（百万円）

決算期 / 製品名	2025年3月期	2026年３月期		2027年３月期			
		中間期	通期	中間期	前同比	通期予想	前期比
過活動膀胱治療薬 **ベオーバ**	18,662	10,222	21,547	11,456	12.1%	23,400	8.6%
透析そう痒症治療薬 **コルスバ**	5,284	3,793	8,072	5,017	32.3%	10,300	27.6%
持続性及び慢性ITP[*1]治療薬 **タバリス**	2,190	1,648	3,739	2,305	39.8%	4,800	28.4%
高リン血症治療薬 **ピートル**	4,442	2,069	3,996	2,052	△0.9%	3,900	△2.4%
MPA[*2]、GPA[*3]治療薬 **タブネオス**	8,989	5,607	11,524	3,140	△44.0%	3,700	△67.9%
腎性貧血治療薬 **ダルベポエチン アルファBS注JCR**	3,792	1,820	3,574	1,826	0.3%	3,500	△2.1%
糖尿病治療薬 **グルベス、グルファスト**	3,209	1,391	2,645	1,173	△15.7%	2,200	△16.8%
腎性貧血治療薬 **エポエチンアルファBS注JCR**	1,771	761	1,388	623	△18.1%	1,300	△6.3%
子宮筋腫治療薬 **イセルティ**	–	–	70	259	–	700	900.0%

*1：免疫性血小板減少症
*2：顕微鏡的多発血管炎
*3：多発血管炎性肉芽腫症

Ⅵ. 新薬開発状況（自社）

（2026年11月現在）

製品名 ／一般名 ／開発番号	予定適応症	主な作用等	開発段階	開発区分等
オルタシデニブ	再発／難治性 急性骨髄性白血病	IDH1阻害作用	承認申請中	導入品／ライジェル(米国)
イセルティ ／リンザゴリクス	子宮内膜症	GnRHアンタゴニスト	第Ⅲ相	創製品
Cretostimogene grenadenorepvec ／CG0070	高リスク筋層非浸潤性膀胱がん	腫瘍溶解性ウイルス療法	第Ⅲ相	導入品／CGオンコロジー(米国)
	中リスク筋層非浸潤性膀胱がん		第Ⅱ相	
ロバチレリン ／KPS-0373	脊髄小脳変性症	甲状腺刺激ホルモン放出ホルモン(TRH)作用	第Ⅲ相	導入品／塩野義製薬
Matsupexole ／KDT-3594	パーキンソン病	ドパミン受容体刺激作用	第Ⅱ相	創製品
KSP-0914	バセドウ病	甲状腺刺激ホルモン(TSH)受容体阻害作用	第Ⅰ相	創製品
KSP-0576	過活動膀胱 ／間質性膀胱炎・膀胱痛症候群	TRPM8阻害作用	第Ⅰ相	創製品
KSP-0930	ナルコレプシー	オレキシン2(OX2)受容体刺激作用	第Ⅰ相	創製品

※ 前回公表時（2026年7月）からの変更点
Cretostimogene grenadenorepvec（中リスク筋層非浸潤性膀胱がん） 第Ⅱ相（新規記載）

Ⅶ. 新薬開発状況（導出）

（2026年11月現在）

一般名	予定適応症	主な作用等	実施国・地域	提携企業	開発段階
リンザゴリクス (Linzagolix)	子宮筋腫	GnRHアンタゴニスト	3ヵ国*	セラメックス(英国)	承認申請中
			韓国	JWファーマ(韓国)	第Ⅲ相
	子宮内膜症		台湾	シンモサバイオファーマ(台湾)	承認申請中
			3ヵ国*	セラメックス(英国)	承認申請中
シロドシン (Silodosin)	前立腺肥大症に伴う排尿障害	α1Aアドレナリン受容体拮抗作用	ベトナム	エーザイ(日本)	承認申請中
ホスタマチニブ (Fostamatinib)	持続性及び慢性免疫性血小板減少症	チロシンキナーゼ阻害作用	台湾	台田薬品(台湾)	承認申請中

* ブラジル、南アフリカ共和国、メキシコ